



TITLE:

總同盟罷工論

AUTHOR(S):

河田, 嗣郎

---

CITATION:

河田, 嗣郎. 總同盟罷工論. 經濟論叢 1917, 5(6): 796-817

ISSUE DATE:

1917-12-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127307>

RIGHT:

學大科法學大國帝都京

# 叢論濟經

號六第 卷五第

行發日一月二十年六正大

## 論說

社會學ト社會科學(二).....

文學士

高田保馬

租稅ニ於ケル強制ト任意.....

法學博士

神戸正雄

總同盟罷工論.....

法學士

河田嗣郎

經濟的行爲ト道德的行爲トノ關係(三).....

法學博士

田島錦治

墨子ノ經濟思想(二完).....

法學士

小島祐馬

西歐主義(三).....

文學士

米田庄太郎

土佐藩ノ地割制度(三).....

法學博士

小野武夫

## 時事問題

日米協定ト日本ノ經濟.....

法學博士

神戸正雄

米國ノ貿易制限策.....

法學博士

戸田海市

## 雜錄

佛國ノ戰時食料政策.....

法學士

山本美越乃

英國戰前ノ海運及貿易情況.....

法學士

小島昌太郎

最近獨逸經濟思潮.....

法學博士

櫛田民藏

日英ノ物價趨勢.....

法學士

河田嗣郎

## 總同盟罷工論

河田 嗣 郎

前三號ニ涉ヅテ吾人ハ普通ノ同盟罷工ト其ノ和解及ヒ仲裁制度ニ就イテ論議シ、其ノ性質及ビ効果ヲ明カニスルト同時ニ、其ノ是非ニ關シテ吾人ノ所見ヲ開陳シテ置イタ。從テ今ヤ順序トシテ彼ノ總同盟罷工 (General Strike) ナルモノニ就イテ論議セナケレバナラス。而シテ此ノ問題ニ關シテハ吾人ハ昨年ノ此頃京都法學會ノ大會ニ於テ講演ヲ試ミ、當時既ニ是ヲ本誌上ニ公ニスル等デアツタノチ、何レ今日ノ如キ機會アル可キヲ思ヒテ延引シテ置イタ次第デアル。仍テ茲ニ其後ニ於ケル多少ノ研究ヲ加ヘテ讀者ノ一餐ニ供スルコトトスル。

### 一 總同盟罷工ノ意義

總同盟罷工ト言ヘバ讀ムデ字ノ如ク「總」(General) 同盟罷工ナルガ故ニ、一國內ノアラユル公ノ事業及ビ私ノ經營ニ雇傭セラレタル労働者ガ、俄カニ同時ニ然カモ全員擧ツテ其業ヲ罷ムル場合ヲ意味スルガ如クデアル。然シ此ハ最モ極端ナル理想の場合ヲ意味スルニ外ナラヌノデアツテ、<sup>1)</sup> 決シテ實際上ニ於ケル總同盟罷工ノ意義デハナイ。又總同盟罷工ト言ヘバ或種類ノ企業若クハ或ル地方ノ産業ニ雇役セラルル労働者ノ全部ガ總テ一時ニ罷業ヲ爲ス場合ヲ意味スルガ如クニモ考ヘラルルガ<sup>2)</sup>、ソレモ決シテ總同盟罷工ナルモノノ意義デハナイ。

- 1) Dr. K. Nötzel, Der Generalstreik als sociales Kampfmittel, München Leipzig, 1912., S. 8ff.
- 2) J. Spargo, Syndicalism, Industrial Unionism and Socialism, N. Y. 1913, pp. 86-90

即チ或ル一種類ノ企業ノ從業労働者全部ガ一時ニ罷業ヲ爲ストモ、ソハ總同盟罷工デハナク、罷工者ノ人員如何ニ多クトモソハ問フ所デナイ。例ヘバ或國ニ於ケル紡績業全體ノ労働者ガ、或ハ勞賃ノ増加ヲ請求セムガ爲メニ、或ハ最低勞賃率ノ設定ヲ強要セムガ爲メニ、或ハ八時間労働ノ實行ヲ促サムガ爲メニ同盟罷工ヲ行フトモ、ソハ唯ダ大規模ナル普通ノ同盟罷工タルニ過ギヌ。總同盟罷工デハナイ。又一國ノ或地方ノ各種産業ニ從事スル労働者ガ右等ノ目的ノ爲メニ互ニ聯盟シテ全部罷工ヲ行フトモ、此レ亦普通ノ同盟罷工タルニ外ナラス。然ラバ總同盟罷工トハ一國ニ於ケルアラユル企業ノ労働者全部ガ罷工ヲ爲スヲ必要トスルカト言フニ、決シテソウデハ無イ。一國全體ノアラユル企業ノ労働者ガ全部罷工ヲ爲スト云フガ如キハ、之ヲ假想スルノ不可能ナル譯デハナイガ、實際ニハ起リ得可カラザルモノデアル。若シ總同盟罷工ノ意味ガ之デナクテハナラヌト言フコトニナレバ、總同盟罷工ナルモノハ唯ダ想像的ノモノタルニ過キズシテ、實際問題トシテハ多ク之ヲ攻究スルノ必要ハナクナル。

總同盟罷工ナルモノハ決シテ右等ノ如キ意味ノモノデハナク、ソハ實ニ一國經濟ノ全組織ノ上ニ最も重要ナル地位ヲ占メ、總テ經濟界全體ノ活動ノ死命ヲ制スルニ足ル地位ニ在ル數種ノ大企業ヲシテ、一時ニ其働ヲ止メザルヲ得ザルニ至ラシムルガ如キ罷工ヲ意味スルニ外ナラス。例ヘバ鐵道業、鑛山業、造船業、紡績業等ニ從事スル労働者ノ主要ナル大部分ガ一時ニ其業ヲ罷メ、爲

メニ此種ノ事業ハ其働ヲ休止セザルヲ得ザルニ至リ、然カモ之ガ爲メニ引キテ一國ノ經濟活動ガ休止スルニ至ルガ如キコトアラバ、ソハ即チ總同盟罷工ノ行ハレタルモノデアル。即チ總同盟罷工タルガ爲メニハ企業ノ各種類ガ悉ク其中ニ包含サルルノ必要ナク、又重要企業ニ從事シテ居ル労働者ガ一人殘ラズ罷業ニ加ハラネバナラヌ必要ハナイ。唯ダ資本ノ最モ多ク集積セラレ労働ノ最モ好ク組織サレタル、從テ一國經濟組織ノ鍵鑰ヲ握ツテ居ル所ノ最モ重要ナル地位ヲ占ムル數種類ノ事業ニ於テ、其活動ヲ休止セシムルニ足ルダケノ多數ノ労働者ガ罷業ヲ爲セバソレデ好イ。<sup>3)</sup>

斯ルガ故ニ總同盟罷工ナルモノハ、之ヲ其ノ産業的範圍ニ就イテ言ヘバ、其ノ行ハルル範圍ガ國內ノ産業一般ニ對シテ甚ダ重要ナル意義ヲ有スルモノタル限り、罷工ヲ行フ労働者ノ數ハ、必ズシモ甚大ナルヲ要セズ、食料品ノ生産ヲ爲スモノ、鐵、石炭等ノ探掘ヲ爲ス鑛山業、鐵道船舶等ノ如キ交通業ニ於テ罷工ノ行ハルル場合ニ於テ然リトスル<sup>4)</sup>。特ニ鐵道業ノ如キニ在リテハ、ソガ現時ノ經濟界ニ於テ有スル使命ノ絶大ナルガ爲メニ、此ニ行ハルル罷業ハ最モ其ノ効果ノ大ナル可キヲ認メナクテハナラヌ<sup>5)</sup>。從テ又總同盟罷工ハ其ノ行ハルル産業範圍ガ餘リ重要ナルモノタラザル場合ニハ、其ノ行ハルル地方的範圍ノ十分ニ廣ク、又之ニ與ハル罷工人員ノ十分多數ナルヲ必要トスル。サレバ之ヲ地方的範圍ヨリ言ヘバ、總同盟罷工ハ其ノ行ハルル區域狹キ場合ニハ其行ハルル産業ハ飽迄重要ナルモノタルヲ要シ、而シテ可成クハ其ノ地方ノ大多數ノ産業ニ雇役

3) J. Jaurès, *Studies in Socialism* (transl. by M. Minturn) N. Y. and London, (1906, pp. 106-7)

4) A. D. Lewis, *Syndicalism and the General Strike*, 1912 p. 218;

5) Nötzel, a. a. O. S. 9.

セラルル者ガ舉ツテ之ニ參加スルヲ必要トスルノミナラズ、其ノ地域タルヤ一國産業上ニ於テ重要ナル位置ニ在リ、工業ノ中心タルガ如キ位置ニ在ルコトヲ必要トスルノデアル。<sup>6)</sup>

右ハ其行ハルル範圍ヨリ之ヲ觀タル總同盟罷工ノ意義デアルガ、總同盟罷工ナルモノノ性質ヲ明瞭ニ了解セムガ爲メニハ、唯ダ其形ノ上ニ於ケル右ノ如キ觀察ヲ爲スノミニテハ不十分デアル。必ズヤ進ミテ其ノ目的トスル所ニ就キテ攷察シナクテハナラス。仍テ之ヲ攷フルニ、總同盟罷工ナルモノハ之ヲ利用シテ事ヲ行ハントスル者ノ主義立場ニ因リテ全ク其ノ目的ヲ異ニシ、一概ニ之ヲ論ズルコトガ出來ヌ。即チ或派ノ社會主義者等ハ總同盟罷工ヲ以テ總テ社會主義的ナル社會組織ヲ造リ出スガ爲メニ用ヒラル可キ數多キ手段中ノ一ト考ヘ、從テ總同盟罷工モ亦普通ノ同盟罷工ノ如ク、之ニ依リテ直接ニ勞働者ガ其ノ階級的利益ヲ進メ地位ヲ高ムル手段トシテ用ヒラル可キモノトスル。從テ總同盟罷工ハ或ハ勞賃値上要求ノ爲メニ、或ハ八時間勞働要求ノ爲メニ、或ハ勞働保險制定要求ノ爲メニ、或ハ普通選舉制實行ノ要求ノ爲メニセラル可キモノデアツテ、其ノ目的ハ經濟上ニ又政治上ニ存スルヲ得ルモノトセラレル。然ルニ彼ノさんぢかりすとニ至ツテハ總同盟罷工ヲ見ルコト之ト全ク趣ヲ異ニシ、彼等ハ之ヲ以テ現行制度ノ下ニ於テ勞働者階級ガ其ノ地位ヲ改善ス可キ手段ナリトハ考ヘヌ。彼等ノ見ル所ヲ以テスレバ總同盟罷工ナルモノハ之ニ由リテ現時ノ資本主義的ナル經濟組織ヲ根本的ニ覆ス可キ最後ノ手段ト爲スモノデアル。即

6) Dr. E. Georgi, Theorie und Praxis des General Streiks in der modernen Arbeiterbewegung, Jena 1908, S. 6-8

チ總同盟罷工ナルモノハ無產業階級ガ目的トシテ闘争スル所ノ大團圓タラザル可ラズ、現時ノ資本主義的組織ハ總同盟罷工ニ依リテ其ノ全組織ヲ破壊セラレ、労働者階級ハ之ニ因リテ以テ新ナル自己ノ社會ヲ造リ新ナル産業組織ヲ創造セザル可ラズトセラルルノデアル<sup>7)</sup>。

サレバ社會主義者ハ總同盟罷工ヲ以テ普通ノ同盟罷工ノ如ク労働條件ヤ労働者ノ地位ヤ改善向上ス可キ數多キ手段中ノ一手段ト爲シ、唯ダ前者ハ後者ニ比シ更ニ大規模ニテ從テ更ニ大イニ有効ナルモノナリトシテ此點ニ於テ兩者ヲ區別スルニ過ギヌ。即チ兩者ハ其ノ目的ニ於テ同ジキモノアリ唯ダ其ノ効力ニ於テ大小ノ差アルモノトセラルルニ過ギヌ。然ルニさんぢかりすとノ見ル所ヲ以テスレバ、總同盟罷工ノ目的トスル所ハ唯之レ現存ノ經濟及ビ社會組織ノ根本的革新ニ存スルノミデアルカラ、總同盟罷工ト云ヘバ必竟ズル所ハ革命ト同意義トナルノデアル<sup>8)</sup>。此ノ意味ニ於ケル總同盟罷工ハ固ヨリ普通ノ同盟罷工トハ全ク其ノ目的從テ其ノ意義ヲ異ニスルノデアル。後者ガ唯ダ現制度ノ下ニ於ケル労働者階級ノ利益増進ト地位向上トノ目的ノ爲メニ行ハルルニ反シテ、前者ハ根本的ニ現制度ヲ否定シ之ガ革新改造ヲ目的トシ其爲メニ行ハル可キ最後ノ手段トセラルル。

何レニシテモ總同盟罷工ナルモノハ之ヲ用キントスル者ノ主義立場ニ因リテ右ノ如ク全然其ノ目的ヲ異ニシ從テ其ノ意義ヲ異ニスルモノナルヲ忘レテハナラヌ。然カモ由來總同盟罷工ハ社會

7) J. Spargo, *ibid.* pp. 90-93.

8) 1897 年 Toulouse ニ於ケル Confédération Général du Travail, ハ然カ決議セリ

主義者等ニ依リテ唱道推奨セラルルヨリモ、寧ロ多クさんちかりすとニ依リテ唱道セラレ、總同盟罷工ト言ヘバ則チさんちかりすむノ聯想セラレ、さんちかりすむノ好ムデ之ヲ行ハムトスル「さばたーち」ヤ「きや、きやんにー」ナドト共ニ所謂直接行動中ノ最有効ナル從テ最後ノ手段ナリト了解セラルルモノナルコトヲ忘レテハナラヌノデアル。

## 二 總同盟罷工ノ効力

總同盟罷工ナルモノハ右ニ述ブルガ如キ意義ノモノデアルカラ、ソガ有効ニ行ハルルニ於テハ之ガ爲メニ一國ノ經濟利益ノ受クル影響ハ絶大デナクテハナラヌ。或ハ之ガ爲メニ一國ノ經濟活動ハ其ノ働ヲ休止セザルヲ得ザルコトナリ、或ハ半身不隨ノモノトナラザルヲ得ナイ。即チ之ヲ社會主義者ノ解スルガ如キ意味合ノモノトスルモ、其行ハルルニ由リテ現時ノ經濟組織ハ其ノ態様ノ一部分ヲ變ジ、聽テ來ル可キ社會主義的ナル經濟組織ノ基礎ハ漸次之ニ依リテ据ヘ付ケラレナクテハナラヌ。若夫レ之ヲさんちかりすどノ解スルガ如キ意味合ノモノトスルニ於テハ、畢竟之レ革命ノ成就ニ外ナラヌカラ、現存ノ社會制度ト經濟組織トハ根本的ニ其ノ面目ヲ一新セナケレバナラヌ筈デアル。然シ乍ラ少シク詳カニ事理ニ照シテ之ヲ觀レバ、總同盟罷工ナルモノハ必然的ニ斯カル効果ヲ生ズ可キ力ヲ具有スルモノデハナイ。其ノ有効ニ行ハルルカ無意味ニ終ル



カ、必要の行動デアルカ無謀ノ暴動タルニ過ギヌカハ、全ク總同盟罷工ノ行ハル場合々々ノ事情ノ奈何、其ノ現實ニ目的トスル所ノ何タル乎、其ノ依テ行ハル方法ノ如何様ナルカニ因ツテ定マルモノデアル。

サレバ總同盟罷工ガ正當ト認メラレ又其ノ有効力ヲ發揮シ得ムガ爲メニハ、色々ノ條件ヲ必要トスルモノナルヲ了知セナケレバナラス。ぢよりれーす氏ノ如キハ總同盟罷工ガ能ク有効ニ行ハルヲ得ムガ爲メニハ次ノ三條件ハ之ヲ缺ク可ラザルモノト見テ居ル。即チ一ニハ労働者ガ其ノ行フ總同盟罷工ニ就イテ十分好ク其ノ意味ト必要トヲ理解シ十分ナル自信ヲ以テ之ニ當ルコト、二ニハ輿論ノ大勢ガ總同盟罷工ニ對シテ其ノ目的トスル所ノ適法ニシテ其行ハルルノ當然ナルコト若クハ必要ナルコトヲ承認スルヲ肯ズルコト、三ニハ總同盟罷工ガ唯ダ權利行爲タルノ假面ヲ冠ツタ暴行暴動タルニ過ギザルモノト見ラルルコトナク、眞ニ權利主張トシテ行ハルルモノタリ從テ其執ル所ノ手段方法ハ十分組織的ニシテ然カモ運動自身ガ頗ル明瞭ニ階級的色彩ヲ有スルモノナルコト之デアル。<sup>9)</sup>

仍テ少シク詳カニ此等ノ條件ニ就イテ攷フルニ、先ヅ第一ノ條件ニ於テ、何シロ總同盟罷工ナルモノハ労働者ニ對シテハ之ヲ行フガ爲メニハ實ニ容易ナラザル犠牲ヲ要求スルモノデアルカラ、労働者ガ其ノ罷工ノ目的トスル所、其行ハル理由等ニ就イテ十分ナル理解ヲ有シ同情ヲ持

9) Jaurès, ibid. pp. 108-

ツニアラザレバドウシテモ好キ效果ヲ上ゲ得可キモノデナイ。然シ一ト度ヨク其ノ目的トスル所ガ理解セラレ、其行ハルルノ止ムヲ得ザル所以ノ納得セラレ、其ノ成功シタル曉ニハ如何ナル利益ヲ齎スモノナルカノ明瞭ニ意識セラルルニ於テハ、其ノ運動ハ茲ニ熱誠ト活力トヲ得來ルノデアツテ、能ク困難ニ堪ヘ障礙ニ打克チテ所期ノ目的ヲ達スルコトガ出來ル。併シ乍ラ之ハ固ヨリ唯ダ彼ノ革命的ナラザル總同盟罷工ニ就イテノミノ話デアツテ、彼ノ一朝ニシテ革命ヲ成就セムガ爲メニ現時ノ資本主義的經濟組織ニ對スル勞働者階級ノ鬭爭ノ最後ノ一幕トシテ總同盟罷工ノ行ハル可シトナスガ如キモノニ至ツテハ、後ニ之ヲ詳論ス可キガ如ク、到底其ノ實効力ヲ信ズルコトハ出來難イ。サレバ即チ彼ノ改善の漸進方法タル八時間勞働制ダトカ養老年金制ダトカ失職保險ダトカ云フ種類ノモノノ制定ヲ要求スルガ如キ場合ニ際シテハ、勞働組合ノ如キハ能ク勞働者ヲシテ其ノ要求ノ目的トスル所、理由トスル所ヲ理解スルヲ得セシメ、有効ナル總同盟罷工ヲ遂行スルニ足ル可キ熱誠ヲ喚起シ精力ヲ集注セシムルヲ得可キモノナルヲ思ハナクテハナラヌ。蓋シ現時ノ自覺セル勞働者階級ハ確固タル目的ト廣汎ニシテ適切ナル效果ヲ有スル積極的改革ニ對シテ戰フニ躊躇スルモノデハナイカラデアル。

然シ第二ニハ勞働者ガ如何ニ熱心ニ中心ヨリシテ總同盟罷工ノ爲メニ奮闘スルノ覺悟ヲ有スルトモ、社會一般ノ輿論ガ其ノ罷工ノ目的ヲ正當ト認メズ又其ノ行ハルル方法ヲ是認セザルニ於テ

ハ總同盟罷工ハ所詮成功シ得ルモノデナイ。特ニ所謂中産階級ノ同情ガ大事デアル。何シロ總同盟罷工ナルモノハ經濟社會ニ對シテハ一大災疫タルヲ失ハズ、之ヲ行フ者ハ秩序破壊者ニ外ナラヌノデアルカラ、ソレニ因リテ生ズル犠牲ノ多大ナルダケ、ソレダケ社會一般ハ之ニ對シテ痛切ナル利害ヲ感ジテ居ル。從テ若シ輿論ガ總同盟罷工ノ目的ヲ是認セズ又其ノ探ル所ノ手段ヲ正當ナリト認メズ、之ニ對シテ大イニ非難ノ聲ヲ揚ゲ反抗ノ氣勢ヲ示スニ於テハ、社會ノ同情ハ當然企業家側ニ集マリ労働者ハ終ニ四面楚歌聲裡ニ陷ラザルヲ得ナイ。總同盟罷工ヲ爲ス労働者ノ數如何ニ大ナレバトテ、社會一般ノ多數ナルニ比較シテハ到底其敵デハナイノデアル。此ノ事情ヲ實證セル適切ナル實例ハ、選舉法改正ノ要求ノ爲メニ一八九三年ノ四月ニ白耳義ニ行ハレタル總同盟罷工ト、一九〇二年ニ行ハレタル同國ノソレト、次ニハ一九〇二年及ビ一九〇九年ニ行ハレタル瑞典ノ總同盟罷工ト之デアル。即チ一八九三年ノ白耳義ノ總同盟罷工ニ於テハ其ノ要求ノ正當ナリシガ爲メニ労働者ノ全部ハ之ニ賛成シ、組合労働者タルト然ラザルト急進派ナルト保守派ナルトニ區別ナク之ヲ援助シタルノミナラズ、中産階級亦之ニ同情シタルガ爲メニ罷工ハ大々の成功ヲ收メ所期ノ目的ヲ貫徹スルヲ得タ。<sup>10)</sup> 然ルニ一九〇二年ニ行ハレタル男子普通選舉權要求ノ總同盟罷工ハ社會ノ同情ヲ得ル能ハザリシガ爲メニ無慘ナル敗北ニ終ツタ。<sup>11)</sup> 而シテ同年同様ノ目的ノ爲メニ瑞典ニ行ハレタル總同盟罷工ハ中産階級ノ同情ヲ得タルガ爲メニ半バ其ノ目的ヲ達シ得タ

10) Spargo, Syndicalism, Industrial Unionism and Socialism, pp. 114-116

11) ibid, p. 116.

レドモ、一九〇九年ノソレニ至ツテハ全然失敗一歸シ然カモ其ノ主ナル敗因ハ社會ノ同情ヲ得ル能ハザリシニ存スル。即チ同年八月四日二十萬人ノ労働者ハ賃錢ト労働時間トノ爲メニ總同盟罷工ヲ爲シ頗ル平和的ニ又秩序整然ト之ヲ行ツタケレドモ、今次ハ社會ハ之ニ味方セズ、罷工労働者ニ由リテ空虚ニセラレタル労働ハ漸次ニ社會ノ義勇労働ニ依リテ補充セラレ、特ニ交通運送、食料品製造等ニ於テハ社會各階級ノ人々ハ義勇的ニ進ムデ自ラ其任ニ當リ、總同盟罷工ニ因リテ社會經濟ガ其ノ活動ヲ休止スルヲ防止シタ。爲メニ八月十六日ニ至リテハ労働者ハ全然其ノ失敗ヲ認知セザルヲ得ザルコトナツタノデアル。<sup>12)</sup>

次ニ第三ニハ總同盟罷工ガ眞ニ經濟上ノ目的ノ爲メニ權利主張ノ手段トシテ行ハルルモノナラズシテ、同盟罷工ト云フ假面ヲ冠リテ革命運動ヲ爲スモノナルニ於テハ、社會ノ輿論ハ固ヨリ之ニ組ス可キ筈ナク、必ズヤ直チニ大イナル反抗運動ノ起リ來ルハ當然デアル。而シテ此ノ反抗運動ニ對シテハ無産者階級ト雖トモ思慮アル者ハ之ニ組セザルヲ豫想セナクテハナラス。何レニシテモ現今暴動ヤ暴行ニ依ツテ或ル主張ヲ貫徹セント欲シ、革命ヲ成就セムト期スルガ如キハ到底許サル可キモノデナイ。暴行ト云ヘバ即チ之レ現時ノ文明主義ニ戻リ根本的ニ現時ノ倫理思想及ビ法律觀念ト相容レザルモノデアル。暴行ニ依リテ或ル積極的ナル目的ガ成就セラルルト云フコトニナレバ現時ノ文明ノ基礎ハ根柢ニ於テ覆サルルモノデアル。革命ト雖トモ己ニ之レ一般のニ

12) ibid, p. 117.

13) ibid, pp. 123-127.

文明ヲ破壊セントスルモノデハナイ、唯ダ現時ノ社會及ビ經濟ノ組織狀態ヲ否定シ其ノ革新ヲ企圖スルモノタルニ外ナラス。況ンヤ革命ナラザル勞動狀態改善ノ手段トシテ行ハルルニ過ギザル總同盟罷工ノ側ニ在リテハ、ソハ已ニ固ヨリ根柢的ニハ現時ノ社會制度ヲ肯定シ一般のニ文明ノ原則ヲ尊重シ其ノ許容スル範圍内ニ於テ事ヲ行ハントスルモノタルニ外ナラス。從テ其ノ場合ニ暴行ヤ暴動ニ依リテ之ヲ爲サントスルアラバ到底自家撞着タラザルヲ得ナイ。自殺的行動タラザルヲ得ナイ。所詮之ニ依ツテ其ノ目的ノ貫徹セラル可キモノデハナイノデアル。

總同盟罷工ト云ハズ總ベテ同盟罷工ガ有効ニ行ハル可キ條件トシテハ前ニ掲ゲタルガ如ク社會一般ノ同情ヲ得ルコトガ必要デアルカラ、同盟罷工ヲ爲スニ當リテハ勞動者團體ハ事件ノ真相ヲ世ニ公ニシテ社會ノ同情ヲ喚起セザル可ラス。而カモ此ノ社會ノ同情タルヤ合理的ニシテ合法的ナル行動ト溫和ニシテ適度ナル運動トニ依リテ始終一貫シテ支持サレナクテハナラス。サレバ同盟罷工ノ指揮者タル者ハ何ハ扱テ措キ暴動ヲ防ギ、之ヲ防グニ就キテ敏捷且ツ大膽ナラザル可ラズ。罷工者ハ常ニ平和的ニ行動スルコトノ必要缺グ可ラザルモノナルヲ徹底のニ自覺セシメラレナクテハナラス。要スルニ如何ナル事情ノ下ニ於テモ同盟罷工ハ其軌ヲ逸シテ暴動ニ陥ルコトナキヲ期セナクテハナラスノデアルガ、兎角同盟罷工ナルモノハ其ノ進行ノ途中ニ於テハ暴行ニ訴ヘ腕力ニ依ルコトノ捷徑ナルガ如クニ考ヘラルルヲ避ケ難イ。然シ乍ラ一ト度此ノ誘惑ニ陥ラン

カ其ノ損失ハ終ヨク之ヲ恢復ス可カラズ、暴行ノ一撃ハ永久ニ社會ノ同情ヲ去ラシムルモノデアル。勞働者ノ要求ノ如何ニ正當ニシテ雇主ノ態度ノ如何ニ横暴ナリトモ、苟モ一ト度罷工勞働者ニシテ暴動ヲ爲スアラン乎、曲ハ全ク勞働者側ニ移リ來ルモノタルヲ豫想セナクテハナラヌ。元來同盟罷工特ニ總同盟罷工ナルモノハ戰爭ニ類スルモノデアル。而シテ戰爭ノ行ハルル際ニハ交戰國ハ常ニ國際公法ノ條規ニ從テ行動シ、幾ラ交戰ナレバトテ之ヲシテ人道ニ戻ラザルモノタラシムルヲ必要トスル。之ト同ジク同盟罷工ニ於テモソハ常ニ守ル可キ法的制限アルヲ知ラザル可ラズ。之ヲ守ラザレバ其ノ行動ハ、從テ同盟罷工其物ハ、人道ニ戻リ文明ニ逆フモノトシテ呪咀セラル可キデアル。如何ニシテカ能ク有効ニ行ハルルヲ得ンヤ。其ノ目的ヲ成就スルヲ得ンヤ。<sup>14)</sup>

サレバ要スルニ總同盟罷工ガ能ク奏功シ得ンガ爲メニハ、必ズ先ニ述ベタル種々ノ條件ノ下ニ、明確ナル目的ノ備ハリ其ノ目的ハ實現サレ得可キ具體的ノモノニシテ、例ヘバ八時間勞働ノ要求トカ、勞賃引上ノ要求トカ、勞働組合主義ノ承認ノ要請トカ云フガ如ク、勞働者ノ要求トシテフサワシキモノタリ、從テ社會ヨリ之ヲ觀テ勞働者ノ正當ナル權利主張トシテ是認サルルヲ得、從テ又社會ノ同情ノ勞働者側ニ加擔シ、少クトモ之ヲ敵視セザルコトヲ要スルノデアル。而シテ此種ノ總同盟罷工ハ直接ニハ其ノ要求スル具體的目的ヲ達シ得ルノ望多キト同時ニ間接ニハ又企業家ニ對スル一ノ警告トシテ之ヲ戒メ之ヲ反省セシメ、勞働者ノ狀態ノ改善ノ爲メニ盡力ス

14) John Mitchell, Organized Labor, pp. 316-319.

ルノ決心ヲ爲サシメ又其ノ實行ヲ促スノ効果ヲ上ゲ得ルモノト觀ナケレバナラス。然ラバ即チ總同盟罷工ナルモノハ、一面ニハ勞動者ヲシテ其ノ權利主張ニ關スル其ノ地位ノ自覺ヲ得セシムルト同時ニ、勞動條件ニ關スル其ノ要求ヲ貫徹セシムルニ足ルダケノ効力ヲ有シ、他面ニハ又企業家階級ニ對シテ社會問題ノ重大ナル意義ヲ知ラシメ、其ノ地位ニ伴フ任務ヲ自覺セシムルノ効力ヲ有スルモノト謂ハナケレバナラスノデアル。

### 三 總同盟罷工ノ是非

斯ク論ジ來ツテ吾人ハ茲ニ總同盟罷工ノ是非ニ就イテ少シク致ヘテ見ナケレバナラスコトトナツタ。總同盟罷工ノ是非ニ就イテ致察スルニ當リテハ必ズ先ヅ總同盟罷工ナルモノノ意味ヲ、勞動者ガ勞動狀態改善ノ爲メニ又其ノ階級ノ利益増進ノ爲メニ社會及ビ經濟ノ現制度ノ肯定ノ下ニ之ヲ行フ場合ト、社會鬭爭ノ大團圓トシテ革命成就ノ爲メニ之ヲ行ハントスル場合トニ分チテ取扱ハナケレバナラス。

社會及ビ經濟ノ現制度ノ肯定ノ下ニ勞動狀態改善ノ一手段トシテ總同盟罷工ノ行ハルル場合ニハ、其ノ總同盟罷工タルヤ其ノ目的ニ於テハ普通ノ同盟罷工ト異ルナク、唯ダ其ノ發顯ノ形式ト効力トニ於テ異ルニ過ギザルモノデアルカラ、普通ノ同盟罷工ノ是認セラル可キ限り、其ノ範圍

ニ於テ總同盟罷工モ亦是認セラル可キデアル。而シテ吾人ハ曩ニ普通ノ同盟罷工ニ於テ其ノ是非ヲ論ズル場合ニ其ノ是認サル可キ範圍ハ之ヲ明カニシテ置イタカラ、<sup>15)</sup> 今右ノ意味ニ於ケル總同盟罷工ノ是非ヲ攷フルニ就ケテハ、其ノ議論ハ直チニ移シテ之ヲ茲ニ當俟メルコトガ出來ル。洵ニみづちえる氏ノ言ノ如ク一般的ニ同盟罷工ナルモノハ理想上及ビ實際上一ノ二觀點ヨリシテ其ノ是非ヲ攷フルコトノ出來ルモノデアル。之ヲ理想上ヨリ攷フレバ同盟罷工ハ産業上ニ於ケル軋轢ヲ治定スル方法トシテハ實ニ野蠻的ナル方法ト謂ハナケレバナラス。其ハ實ニ耐持ノ爭デアル、力ノ爭デアル。其ハ實ニ産業界ニ現ハルル戰爭デアツテ然カモ普通ノ戰爭ノ如ク痛苦ノ伴フモノデアル。即チ之レ封建的鬭爭タルニ外ナラズシテ其ノ鬭爭ノ爲メニハ當事者以外多數ノ人々ガ少カラザル損害ヲ受ケ苦痛ヲ被ルヲ避ケ難イ。例ヘバ鐵道ヤ電車ニ於ケル同盟罷工ニ際シテ大イナル損害ヲ被ル者ハ社會公衆デアツテ、啻ニ便宜ヲ奪ハルルノミナラズ必要ヲモ奪ハルル。此事普通ノ同盟罷工ニ於テモ左様デアルガ、特ニ總同盟罷工ニ於テ然リトスル。之ガ爲メニ社會ガ被ル不安ハ甚大ナル損害ト謂ハナケレバナラス。<sup>16)</sup> サレバ吾人ノ曩ニ之ヲ論ジ置キタルガ如ク、同盟罷工ナルモノハソレ自身トシテハ實ニ災疫タリ禍害タルヲ否ミ難ク、理想的觀點ヨリスレバ文明ニ對スル汚瀆タリ裏切タリ反抗タルニ外ナラス。要スルニ社會ノ不祥事デアル。

然レトモ翻テ之ヲ實際的ニ觀レバ同盟罷工ノ齎ス恩惠モ亦決シテ少小ナラザルモノデアル。之

15) 本誌第五卷第三號拙稿『同盟罷工ト和解及仲裁制度』第一三——二二頁參照

16) Mitchell, *ibid.* pp. 307—



ガ爲メニ生産ノ増進セラレ、労働條件ノ改善セラレ從テ労働者ノ生活ノ向上セラレ其ノ階級ニ於ケル福利ノ増進セラルルヲ否定シ難イ。

サレバ同盟罷工ナルモノハ現時ノ經濟組織ニ伴フ避ク可ラザル禍害タリ然カモ或ル積極的利益ヲ齎サンガ爲メノ手段トシテノ禍害デアル。從テ之ハ之ニ因リテ甚シク社會利益ノ傷害セラルル所ナク社會ノ安寧秩序ノ紊サルナク經濟組織ノ危殆ニ陷レラルルナキ限りハ是認サル可キモノデアル。而シテ總同盟罷工ニ至ツテハ一國經濟ノ活動ヲシテ一時中止スルノ止ムヲ得ザルニ至ラシメントスルモノデアルカラ、爲メニ社會一般ガ被ル迷惑ハ多大ナモノデアツテ、普通ノ個別的ナル罷工ニ比スレバ社會利益ヲ傷クル程度ハ遙カニ大ナレドモ、然カモソガ秩序のニ平和ニ行ハレ何等暴行暴動ノ行ハルナク、所謂「搦手罷業」*grève des bras croisés*トシテ唯ダ重要産業ノ大多數労働者ガ其業ヲ罷メ袖手無爲ノ態度ヲ採リ、消極的態度ニ依リテ積極的目的ヲ達セントスル場合ニハ、之ヲ不法ノ行爲ナリトシテ否認スル譯ニハユカス。業ヲ罷ムル労働者ニ對シテ仕事ヲ強制スルコトハ許サレヌ所デアルカラ、罷工カ暴行暴動等ヲ伴ハス限り而シテ又其ノ目的トスル所ガ革命ニ存セズシテ労働狀態改善ノ合法的ナル要求ニ在ル限り、之ヲ否認シ其ノ不都合ヲ鳴ラスコトハ出來ヌノデアル。此事普通ノ同盟罷工タルト總同盟罷工タルトニ因リテ何等相違ノ生ズ可キ理由ハナイ。天下ノ重要ナル産業ニ従事スル労働者ノ大多數カ平和的ナル總同盟罷工ヲ行ヒ爲メニ

産業活動ノ運轉ガ休止スルニ至ルガ如キアラバ社會ノ迷惑此上モナイケレドモ、斯カル場合ニハ唯ダ社會トシテハ其レヨリ生ジ來ル不幸ナル結果ヲ防止スルニ努ムルヲ要スル迄デアル。勞働者ヲ咎メ其非ヲ鳴ラシ其ノ行動ヲ否認スルコトハ出來ヌ。蓋シ働クト働カザルトハ各人ノ自由ニ屬スル所デアルカラ。然シ現制度肯定ノ下ニ於テ普通ノ同盟罷工ト其ノ目的ヲ同ウスル平和的ナル總同盟罷工ノ是非ニ關シテハ、前述ノ如ク吾人ガ曩ニ普通ノ同盟罷工ニ關シテ其ノ是非ヲ論ジタル所ハ直チニ移シテ之ニ當嵌メルコトガ出來ルノデアルカラ、此ノ以上進ムデ茲ニ又反復スルノ必要ハアルマイ。

然ルニ彼ノさんぢかりすとノ抱懷スルガ如キ革命的ナル總同盟罷工ニ至ツテハ、固ヨリ之レ現存ノ經濟及ビ社會制度ヲ打破シテ全然新タナル基礎ノ上ニ新タナル組織ヲ樹テヤウトスルノデアアルカラ、其ノ是非ハ、現制度ヲ肯定スル限り之ヲ不法トシ一概ニ否認サル可キモノタルヤ言フ俟タヌ。從テ立入ツテ其ノ是非ヲ論ズルト云フコトニナレバ、問題ハドウシテモ經濟及ビ社會ノ現制度現組織ノ理非善惡ヲ論ズルコトナリ、革命其物ノ曲直利害ヲ攷フルコトドナラザルヲ得ナイ。然シ之ヲ爲スニ先テ先ヅ攷ヘテ見ナケレバナラヌノハ、抑モ總同盟罷工ト云フガ如キモノヲ以テシテ果シテ能ク現制度打破ノ革命ノ成就シ得ラルルヤ否ヤト云フコト之デアル。總同盟罷工ナルモノハ革命ノ手段トシテ果シテ有効ナルモノナリヤ否ヤト云フコト之デアル。

革命的ナル總同盟罷工ヲ謳歌スル一派ノさんぢかりすとノ如キハ、國中ノ最モ重要ナル産業部類ニ關シテ行ハルル總同盟罷工ハ能ク社會革命ヲ成就シ得ルモノト信ジテ居ル。少クトモ然ル聲言シテ居ル。即チ彼等ハ以爲ラク、總同盟罷工ノ爲メニ經濟活動ニ必要ナル主要諸方面ノ生産ハ中止セラレ、鐵道ハ運轉ヲ休止シ石炭ノ供給ハ絶ヘ船ハ港ニ入ルヲ得ズ入ルモ積荷荷卸ヲ爲スヲ得ズ、爲メニ社會ハ直接ニ生活上ニ絶大ナル苦痛ヲ感ジ、貧困ナル者ハ其日ノ食ヲスラ得ル能ハザルニ至ツテ、茲ニ社會ハ一大混亂ニ陥リ、秩序ヲ維持ス可キ權力ノ弛ムト共ニ、之ヲ破壊ス可キ力ハ増大シ來ル。斯クテ凍エ又饑ヘタル者ハ腕力ヲ以テ衣食ヲ獲ムトスルニ至リ、所有權ノ保障ハ亡滅ニ歸シテ、世ハ全クノ革命狀態ニ陥リ、資本主義ノ組織制度ヲ衛ル可キ武力金力モ共ニ其用ヲ爲サザルコトナリ、輒チ其ノ瓦解ヲ見、世ハ一朝ニシテ無產者ノ共產的組織トナツテシマウデアラウト。<sup>17)</sup>

然シ此種ノ考ハ實ニ空漠タル小供ラシキ考ト謂ハナケレバナラス。總ジテ社會主義ダトカ共產主義ダトカ乃至ハ又さんぢかりすむダトカ云フモノハ、一ノ思想ノ傾向トシテ思潮ノ發展ヲ促シ之ヲ導クニハ適スルケレドモ、其ノ内容トスル所ハ實ニ雜駁ナルモノデアルカラ、唯ダ漫然ト社會主義ノ爲メニ若クハ共產主義ノ爲メニ實際運動ヲ起シ革命ヲ行フト云フガ如キコトハ出來得可キモノデナイ。實際運動ハ必ズヤ具體的ナル一定ノ確乎タル目的ヲ必要トスル。確乎タル具體的

17) Jaurès, ibid. pp. III-III2

ノ目的ノ定マラナイノニ唯タ漠然ト社會主義トカ共產主義トカ謂ツタ様ナ大キナ名前ノ爲メニ革命運動ノ起ルト云フガ如キコトハ考ヘラレヌ。從テ今總同盟罷工ノ起ルニシテモ、其起ルニハ必ズヤ一定ノ明カナ具體的ナル目的ガナクテハナラヌ。其ノ具體的の目的ノ排除セル限りハ總同盟罷工ヲ起スコトスラ出來難イ。マシテ此ノ運動ノ起リタルガ爲メニ社會ガ一朝ニシテ大混亂ニ陥リテ收集ス可カラザルニ至リ、人々ハ何ノ爲メニ何ヲ爲スカヲ知ラザレドモ唯ダ亂暴ヲ働ケバソレガ革命トナリ、其ノ結果易ス々々ト共產主義ノ社會ガ出來上ルト云フガ如キハ殆ンド無稽ニ近イ話デアル。何シロ總同盟罷工ヲ起スト云フコトハ労働者ニ取ツテハ、ヨク、ヨクノ一大事デアル。場合ニ由ツテハ一家ヲ擧ゲテ饑餓ニ陥ルヲ覺悟セナケレバナラヌ。眞劍ノ事件デアルカラ、一定ノ目的ノ明カニ定メラルルモノアリ、又其ノ目的貫徹ノ十分可能ナルコトノ自信ノ付イタ上デナクテハ、縱令無智ノ労働者ト雖トモ敢テ之ニ參加スルヲ肯ズルモノデハナイ。而シテ愈々總同盟罷工ヲ起シテ工場其他職業ヲ去ルニ當ツテハ、所定ノ目的ノ貫徹サレ成就サルルニアラザレバ再ビ職ニ復セズト決心シテ掛ル次第デアリ、從テ其ノ目的遂行ノ爲メニハ信賴ノ出來安神ノ出來ルダケノ戰略ヲ必要トシ其ノ明示サレンコトヲ要求スル。組織アル合理的ナル運動ヲ必要トスルノデアツテ、決シテ手當リ次第ノ亂暴ヲ行ツテ、其レデ目的ガ達セラルルト考フルモノデハナイ。サレバ總同盟罷工ナルモノハ一ノ自覺的運動デアツテ漫然タル暴行暴動トハ全ク性質ノ異ルモノ

ナルコト前ニ論議セシ所ニ照シ致フルモ明カデアル。之ガ社會ノ混亂ヲ誘起シテ忽チニ革命ヲ成就スルト考フルガ如キハ、餘リニいそぶ物語的デアル。

社會主義トカ共產主義トカ云フモノハ其ノ内容ノ甚シク雜多ナルコト既述ノ通りデアルガ、縱令其ハ内容ノ統一サレ一ノ具體案トシテ社會運動ノ目標トナリ得ルニシテモ、其ノ運動ガ成就シテ社會主義的若クハ共產主義的ナル社會組織ノ出來上ルノハ、除タトシテ永キ年月ノ間ニ出來上ル可キ筈ノモノデアル。魔術師ノ杖ノ一撃ニ依ルガ如ク、一朝一夕ノ革命運動ニ依リテ出來上リ得可キ筈ノモノデハナイ。之ヲ出來上リ得ルト考フルノハ事理ヲ解セザル空想ト謂フ可キデアル。何シロ一ノ新タナル社會組織ヲ造ルト云フ仕事ナノダカラ、ソレハ實ニ綿密周到ナル計畫ト辛勞多キ經營トヲ要スル。長キ年月ニ依ル不斷ノ進化的努力ニ由リテこそ甫メテ能ク其ノ業ヲ成シ遂ゲ得可キモノナルヲ忘レテハナラヌ。

然ルニモ拘ジズ總同盟罷工ヲ以テ革命遂行ノ手段ニ供セント欲スル輩ハ依然トシテ總同盟罷工ノ能ク革命運動ニ進ミ行ク可キヲ信ズル所以ノモノハ、彼等ニハ次ノ信念ガアルカラデアル。即チ彼等ハ以爲ラク、總同盟罷工ハ之レ權利行爲ニシテ何等不法ナル分子ノ含マルコトナク、之ヲ行フコトニ對シテハ法律モ國權モ之ニ干渉ヲ試ミ得可キモノニアラズ、勞働者ハ正々堂々ト之ヲ行ヒテ主張ヲ貫徹シ得可キデアル。然ルニ一ト度總同盟罷工ノ行ハルルヤ、勞働者ハ茲ニ平素ノ

抑壓ト虐待ト痛苦ト悲慘トニ對シテ大イナル憤怒ヲ感ジ、之ニ對スル反抗心ヲ喚起シ、之ヲ行フ可キ熱ト力トヲ獲來ルモノデアルカラ、其ノ運動ハ漸次ニシテ能ク革命運動ト化シテ社會革新ノ實ヲ擧ゲ得ルモノデアルト。<sup>18)</sup> 洵ニろーまんちつくニハ聞ユルガ夥シク事理ニ合セザル見解デアル。

總同盟罷工ト云フ恐ル可キ力ヲ以テスレバ現存ノ資本主義ノ社會及ビ經濟組織ハ根柢ヨリ覆サレ、社會ノ革新茲ニ行ハル可シト考フルハ、暴力派<sup>ミリグト</sup>ノ社會主義者ヤさんちかりすとノ陷リ易キ謬見デアル。然シ乍ラ總同盟罷工ハ所謂直接行動トシテ其カ社會及ビ經濟ニ及ボス影響ハ如何ニ多大デ如何ニ痛切デアラウトモ、到底以テ能ク現在ノ社會組織ヲ覆スニ足ルモノデハナイ。洵ニぢようれーす氏ノ言ノ如ク、總同盟罷工ノ勢ノ如何ニ凄マジクトモ、ソハ所詮大戦争ヤ大侵略ノ凄マジキ勢ニ比敵シ得ルモノデハナイ。一朝大戦争ノ起ルアレバ社會ト經濟トハ絶大ナル打撃ヲ被リ生産ハ阻害セラレ交易ハ攪亂セラレ、一見恰モ社會ハ之ガ爲メニ其ノ基礎ニ龜裂ヲ生ジ經濟組織ハ覆没スルニ至ルベキガ如クニ見ユルケレドモ、古來幾多ノ慘激ナル大戦争ノ行ハレタルニ拘ラズ、社會ト經濟トハ常ニ能ク大震動ニ堪ヘ得テ未ダ替テ其ノ根柢ニ動搖ヲ感ジタルコトアルヲ聞カズ、人々ノ經濟生活モ社會ノ經濟モ依然トシテ從來ノふりんしふるニ由リテ行ハレ、唯之ニ因リテ進化ノ刺激ヲ受クルニ過ギヌ。古來經濟組織ハ進化發展シ來ツタケレドモ、其ノ進化ノ跡ヲ尋ヌレバ皆之レ歩々ニ進ミ着々ト發展シ來ツタモノデアル。一足飛ビニ谷ヲ超ヘ野ヲ跨イデ此

18) A. D. Lewis, Syndicalism and the General Strike. 1912. p. 219.

方ノ峰カラ向ノ峰ヘ飛ビ移ツタ様ナモノヲ見ルコトハ出來ヌノデアル。之ハ實ニ進化ノ理法ノ然ラシムル所、古來然リシガ如ク現在及ビ將來ニ於テモ亦然ラザルヲ得ナイ。<sup>19)</sup>

然ルニ或種ノ人々ハ以爲ラク、若シ總同盟罷工ニシテ一時ニ各所ニ起リ、鐵道ヲ破壊シ港ヲ鎖シ要所々々ニ據テ革命ノ旗ヲ上グルニ於テハ、現時ノ社會ハ到底能ク之ニ抗敵スルヲ得ズ、如何ニ精銳ノ軍隊ヲ養フトモ其數トカトニハ限アリ然カモ交通ノ道絶ヘテ輸送ノ困難ナルガ爲メニ到底能ク革命軍ヲ鎮壓スルニ足ラズ、革命ノ事終ニ成ラザルヲ得ザル可シト。之レ亦妄想タルニ過ギヌ。現時ノ整頓充實セル武備ヲ以テシテ而シテ又同時ニ社會一般ノ人々ガ危急ヲ知リテ之ヲ防グノ決心ト努力トヲ以テスレバ、一時鐵道ガ破壊セラルトカ港ガ鎖サルトカ乃至ハ諸地方ガ部分的ニ占領セラルトカ云フガ如キハ、左迄驚ク可キ事デハナイ。沈着ニ應戰ノ策ヲ講ジ着々其ノ實行ニ取掛ルニ於テハ鐵道モ速カニ修復セラレ占領地モ逐次ニ奪還セラル可キコト、恰モ戰時ニ於テ一時敵軍ノ爲メニ占領セラレタル地方ガ優勢ナル味方ノ軍ニ依リテ奪還セラレ忽チニシテ秩序ノ恢復セラルルト相似タルモノデアル。要スルニ現時ノ社會組織ト政治組織トノ下ニ於テ暴力ニ依リテ之ヲ覆サント企ツルガ如キハ所詮之レ蟻螂ノ斧ヲ振ツテ龍車ニ向フノ類デアル。勞働者ノ群ノ如何ニ多ク其ノ熱狂極度ニ達スレバトテ、常備軍ノ前ニ於テハ何程ノ力デモナイ。<sup>20)</sup> 現時ノ大戰ニ照シ其ノ軍事行動ノ如何ニ完備シ如何ニ強力ナルカヲ見ル者ハ誰一人此ノ優勢ナル軍隊ニ對

19) Jaurès, *Studies in Socialism*, pp. 119-121

20) Mitchell, *Organized Labor*, p. 319; Jaurès, *ibid.* pp. 122-124.

シテ勞動者ノ暴動ノ能ク事ヲ爲シ得可キヲ信ズル者ハアルマイ。又之ヲ實例ニ照シテ總同盟罷工ガ軍隊ノ力ノ爲メニ瞬ク内ニ鎮定セラレタル有様ヲ知ラント欲セバ、曾テ一九〇九年ニ西班牙ニ於テばるせる一なヲ中心トシテ行ハレタル同盟罷工ヲ見ルニ若クハナイ。洵ニ其時ノ西班牙ノ同盟罷工ハ資本主義ノ武力ニ對シテ抗敵セントスルニハ如何ニ勞動者ノ無力ナルカラ示シテ餘アル顯著ナル事例デアル。<sup>21)</sup>

何レニシテモ革命ト云フ事業ハ一ノ建設的事業デアツテ決シテ破壊的事業デナイ。從テ其ノ成功ノ爲メニハ種々ノ周到ナル積極的計畫ト其ノ遂行ニ必要ナル建設的經營ヲ要スル。此ノ建設的經營ヲ缺グニ於テハ勞動者ガ如何ニ多數ニ又如何ニ熱中シテ事ヲ起スモ唯之レ破壊的ナル暴動タルニ過ギヌ。何等之ニ依リテ成就セラルル見込ハナイ。而シテソガ破壊的ナル暴動タルニ過ギザル限り、之ヲ正當トシ之ヲ是認ス可キ何等ノ理由モ存シ得ナイノデアル。

サレバ之ヲ要スルニ、總同盟罷工ノ正當トサレ是認サル可キ場合ハ、勞動者カ其ノ勞動條件ノ改善及ビ其ノ階級トシテノ地位ノ上進ノ爲メニ、明確ニシテ具體的ナル經濟上ノ目的ニ對シテ、平和的ニ規律ト統制トノ下ニ秩序アル行動ヲ爲ス場合之デアル。此ノ場合ハ同様ノ目的ノ爲メニ行ハルル普通ノ同盟罷工ノ是認サルト其ノ理由ヲ同クスルモノタルヤ既述ノ如シ。而シテ彼ノ革命ノ目的ヲ有スル總同盟罷工ニ至ツテハ到底成功シ得ル望ナク、從テ其ノ行動ノ正當ナルヲ主張シ其ノ社會的ニ是認サル可キヲ要求スル何等ノ理由ヲ有セザルモノデアル。

21) Spargo, Syndicalism etc. pp. 119-102.